

No.	報告受領日	一般名	患者 性別	年 代	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査 (年月)	投与後検査 (年月)	企業投与前 検査	企業投与後 検査	受血者個別 NAT	献血者個別NAT	備考
119	2008/3/11	人赤血球濃厚液-LR 人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	60	血液腫瘍	B型肝炎	07/07- 08/02 07/09	HBsAg(-) HBsAb(-) (03/01) HBsAg(-) HBsAb(-) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) HBcAb(+) (07/07)	HBsAg(-) (07/11) HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) HBcAb(+) (07/07) IgM-HBcAb(-) (08/02)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) (08/02)	陽性(輸血前) 陽性(輸血後)	保管検体11本 全部HBV- DNA(-)		
120	2008/3/11	人血小坂濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	80	免疫系疾患	C型肝炎	07/02 07/02	HCV-Ab(-) (07/02)	HCV-Ab(-) (07/03) HCV-Ab(-) (07/06) HCV-Ab(+) (08/01) HCV-RNA(+) (08/02)	HCV-RNA(-) HCV-Ab(-) (07/02)	HCV-RNA(+) HCV-Ab(+) (08/02)	陰性(輸血 前) 陰性(輸血 後)	保管検体6本全 部HCV-RNA(-)	
121	2008/3/18	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	70	循環器疾患	C型肝炎	07/11	HCV-Ab(-) (98/10)	HCV-Ab(-) (07/11) HCV-Ab(-) (08/01) HCV-RNA(+) (08/02) HCV-Ab(+) (08/02)	HCV-RNA(-) (07/11)	HCV-RNA(+) (08/03)	陰性(輸血 前) 陽性(輸血 後)	保管検体2本全 部HCV-RNA(-)	
122	2008/3/18	人血小坂濃厚液	男	50	血液疾患	細菌感染	08/03	-	BT 37. 5℃ →38. 5℃ 院内にて実施 の患者エンドト キシン検査は 陰性。院内に て患者血液培 養実施、陰 性。	非溶血性副作用関連検査実 施。抗血漿タンパク質抗体検査: 陰性。血漿タンパク質欠損検査: 欠損なし。 使用済みバッグによる細菌培養 試験を実施、陰性。				
123	2008/3/21	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR 新鮮凍結人血漿-LR 人血小坂濃厚液(放射線照射)	女	70	循環器疾患等	C型肝炎	07/10- 07/12 07/10- 07/12 07/10- 07/12	HCV-Ab(-) (07/10)	HCV-Ab(-) (07/12) HCV-RNA(+) HCV-Ab(+) (08/01)	HCV-RNA(-) HCV-Ab(-) (07/10) HCV-Ab(-) (07/11,12) HCV-RNA(-) HCV-Ab(-) (08/01)		陰性(輸血 後)	保管検体80本 全部HCV- RNA(-)	患者は08/01/27急性肺水腫にて死 亡。制後なし。 担当医の見解:死亡と本剤の関連性 なし
124	2008/3/21	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	90	血液疾患	細菌感染	08/03	-	BT 37. 9℃ →39. 2℃ 院内にて患者 血液培養実 施、Klebsiella pneumoniaeを 同定。	非溶血性副作用関連検査実 施。抗血漿タンパク質抗体検査: 陰性。血漿タンパク質欠損検査: 欠損なし。 使用済みバッグによる細菌培養 試験を実施、陰性。				被疑薬: 採血10日目の照射赤血球濃 厚液(1本) 結果を受けて、担当医より「副作用・ 感染症と輸血血液との因果関係は不 明である。」とのコメントが得られた。